



上の絵は、今から約130年前の教科書に書かれているお話の挿し絵です。Eントを頼りに、最後まで解けるか挑戦してみましよう！

第1問 上の絵に色をぬりながら、どんなお話か想像してみましよう！

約束のまどく、かたきを取らんとて、かに等ハ、猿のるすをうかいひ、其家ふ入りおみ、卵ハ、火鉢に、かにハ、水桶に、蜂ハ、ぜん棚に、白ハ、てん志やうに、まんぶハ、たいどころにかくれて、猿のかへるをまち居たり。

猿ハ、それとも知らず、ゆふかた家にかへり、て、火鉢に向ひくに、卵がふいにはぬ出し、猿ハ、また、かにかほをやきたり。



より飛び出で、耳の穴をさせり。

猿ハ、あわて、かつてへ行き、水桶にかほを入れたるに、かににはなをはさまれたり。

猿ハ、おどろきて、水桶よりかほを出すやいなや、蜂ハ、ぜん棚

上のページは、第一問の絵がはいっているお話の一場面です。このお話を読んで、第2〜5問に答えましょ。

第2問 お話に出てくる道具の名前と写真を線で結びましょ！

① 火鉢 (音のストーフ)



② 水桶 (音のバケツ)



③ ぜん棚 (今の「食器棚」)



④ 臼 (餅などをつく道具)



第3問 二線の引いてあるひらがなは、昔の言い方で書かれています。□の中に「ひらがな」を入れて、今の言葉に直してください。

① かへる ↓ か□る (ヒント: 「行く」の反対は?)

② ゆふかた ↓ ゆ□かた (ヒント: 昼と夜のあいだ)

③ かほ ↓ か□ (ヒント: 体の一部です)

第4問 く線のひいてあるやうなものは、昔の文字で書かれています。同じ形の字や、「たぐてん」に注意しながら、□の中に「ひらがな」を入れてみましょー！

① おんぶ・おびん ↓ □おんぶ、□やんぶ (ヒント：1番目は海藻かいそうの名前です)

② 家ふ入りおみ ↓ 家□入り①み (ヒント：上の□は「丹」の読み方、下の□は①と同じ字が入ります)

③ てんぢやう ↓ てん□やう(お) (ヒント：家の中にあります。「志」をなんと読むかがポイント！)

④ うれ ↓ □れ (ヒント：これ、昔(むかし)、あれ、これ)

⑤ 志た、か、うか、ひ、あわて ↓ ③た□か、うか□ひ(い)、あわて□ (ヒント：前の字をくりかえし読んでみよう)

第5問 このお話のタイトルを当ててみまじょう。

タイトル)

(